

「東北と世界をむすぶ総合物流サービスを目指して」
～国際物流システム構築で東北復興に貢献～

白金運輸株式会社

代表取締役社長 海鋒徹哉



弊社は昨年12月で設立満40年を迎えることができ、多くのお客様や社員の皆様、関係機関・団体の皆様から多大なるご恩を賜り今日があることに心から感謝をしております。そして、今年3月に「がんばる中小企業・小規模事業者三〇〇社」に選定されました。弊社の取り組みをご評価いただき、とても光栄に感じております。

そんな弊社は、トラック輸送を中心に保管・流通加工、物流センター運営、産廃収集運搬業、通関業、通運業等、総合物流サービスを提供する総合物流企業として努力しております。今回の選定では、海外とのつながりを構築すると同時に、東日本大震災からの復興へ貢献するという想いに着目いただきました。

国際物流については10年前から本格化させ、大船渡港をメインとした輸出入促進に取り組んでいました。しかし、あの震災によって大船渡港は壊滅的な被害を受け、一時輸出入は他の地域に頼らざるを得なくなりました。

私は青年会議所活動などで被災地にも足を運んでいましたので、仕事の再建と同時に復興に対して想いを持つようになりました。まずは岩手の港を通じた貿易促進によって、東北の経済的自立と被災地の生活再建の一端を担いたい、そう思うようになったのです。首都圏を介さない新たな市場とのビジネス、それは東北の持つ魅力を直接発信し世界の魅力を直接東北に持ってくる交易を生むことであり、高度な製品や文化が存在する「東北」という地域ブランドの確立に他なりません。

そして、平成25年11月にベトナムへ駐在員事務所を開設し海外における国際物流サービスを開始しました。その後、外航海運第二種貨物利用運送事業の認可取得により自社ブランドの船荷証券発行が可能となり、日本と海外をトラックや鉄道と船舶で結ぶ複合一貫輸送の提供が実現したのです。

まだまだ少数ですが、中小企業の皆様にベトナムへ同行のうえ直にその目で見えて熱を感じていただき、新たな市場への挑戦を促すよう取り組んでおります。自社益と地域益が同一である仕事だと信じながら、今後も海外との取引がけっして難しいことではない、と信じていただけるよう挑戦をしてみたいです。

弊社の企業使命は「想像から創造へ」。想いを形にする私たちの旅は始まったばかりです。